

経営比較分析表（令和4年度決算）

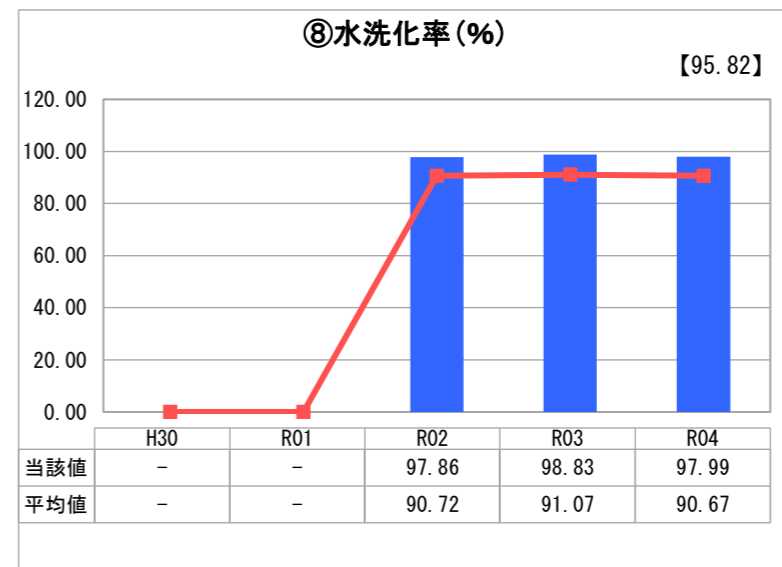
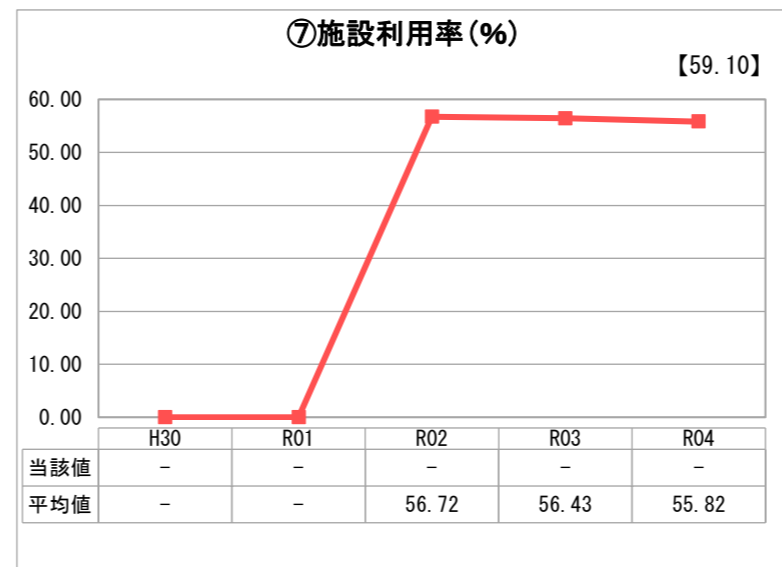
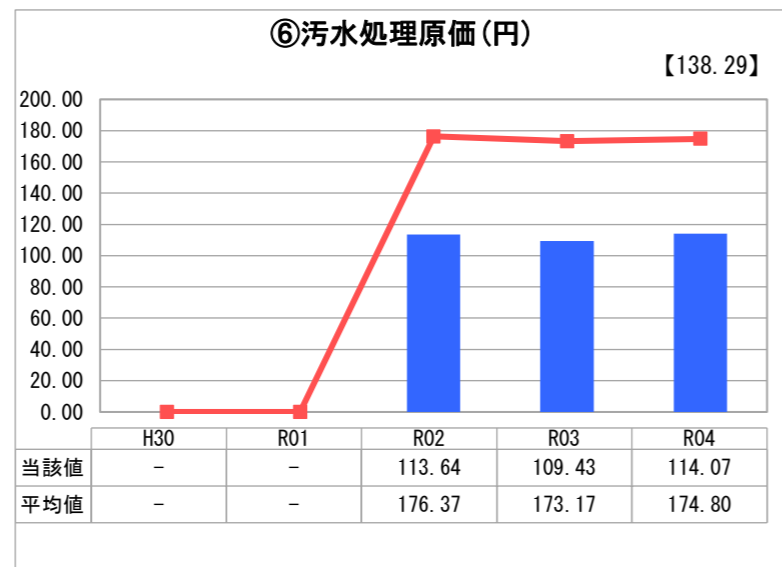
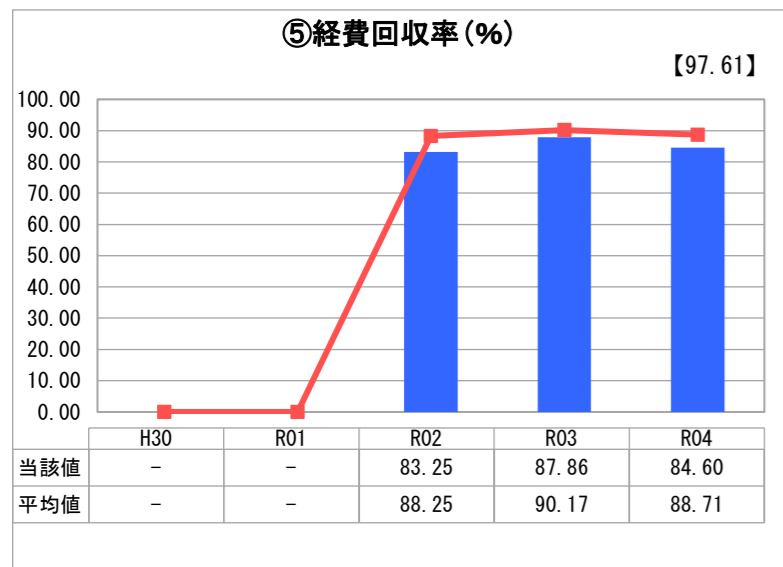
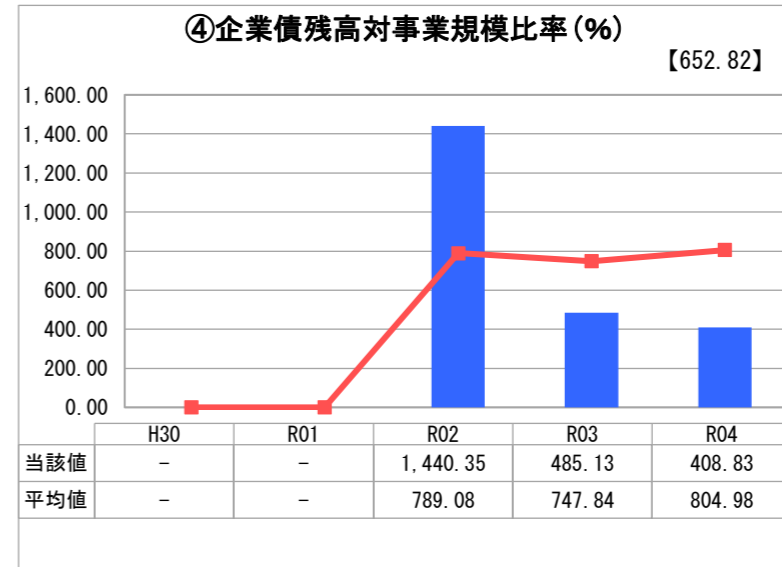
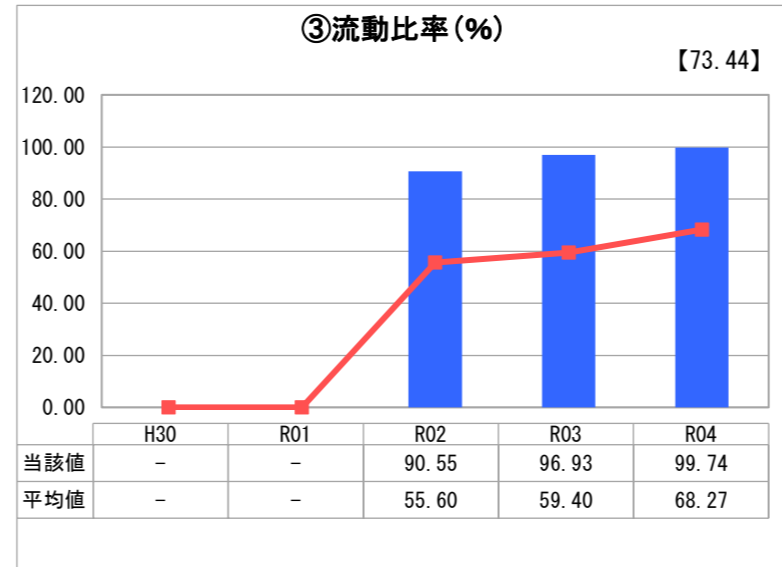
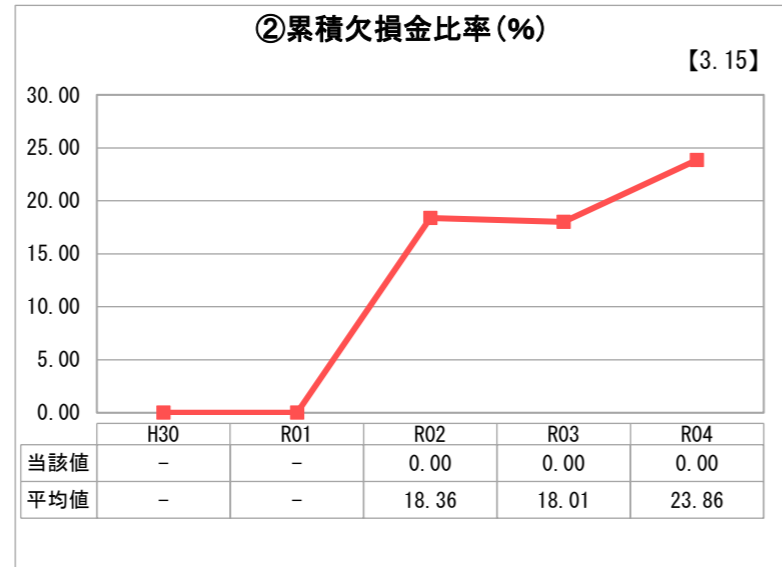
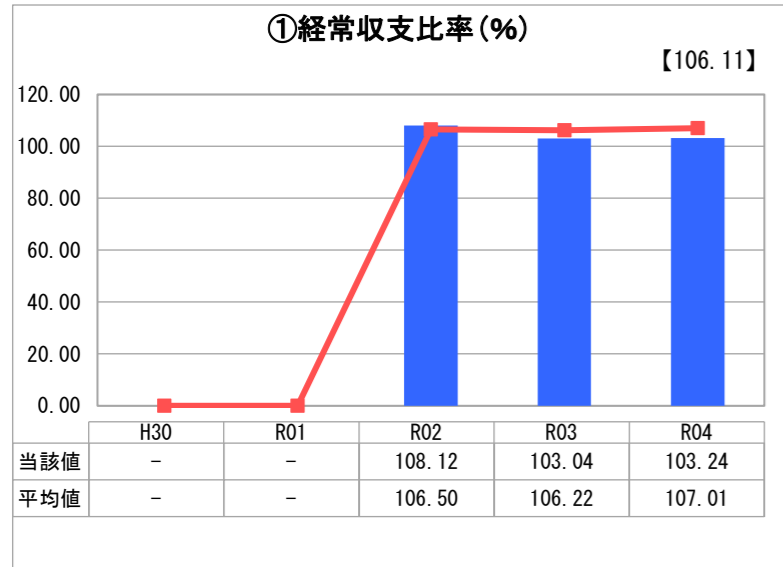
埼玉県 川島町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	74.74	51.99	87.44	1,540

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,188	41.63	460.92
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
9,937	3.25	3,057.54

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

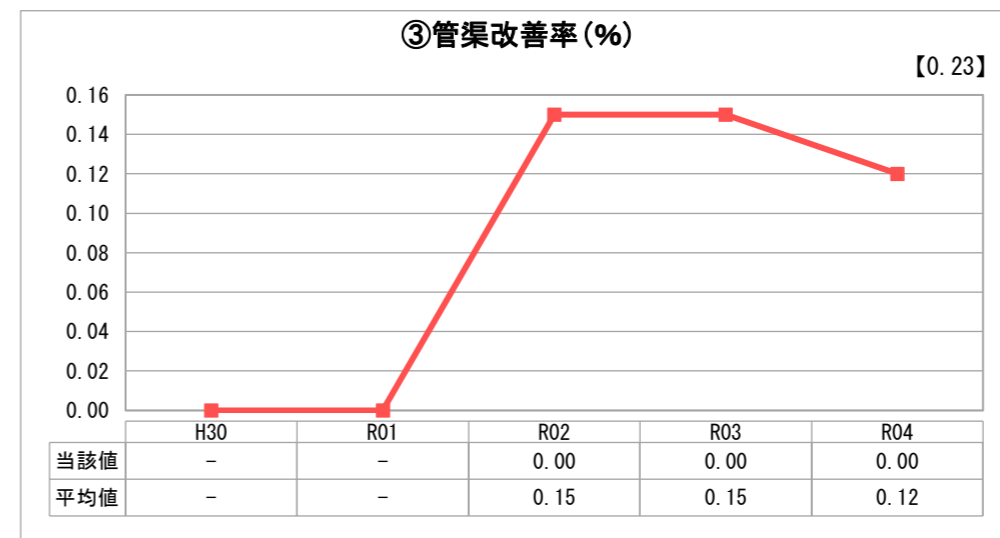
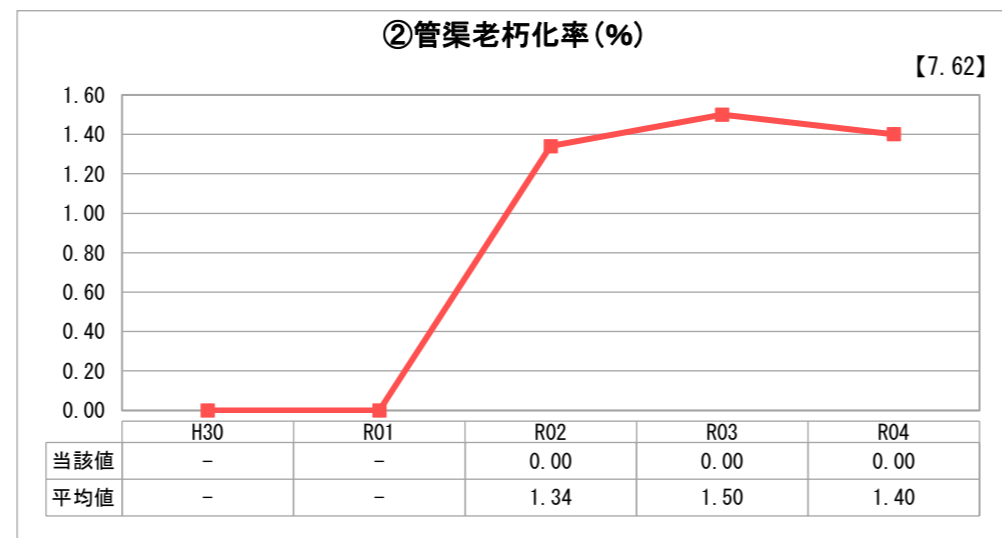
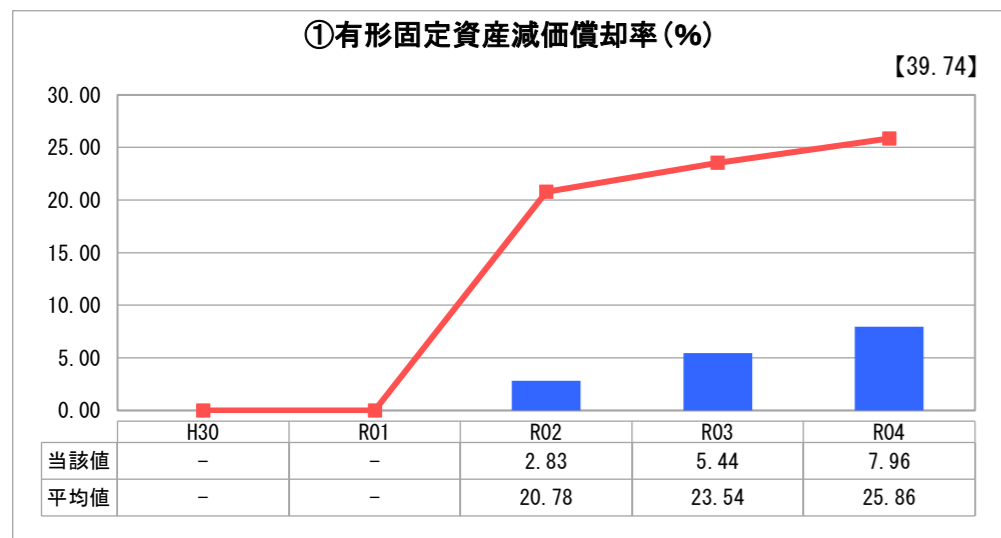
1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率については、全国平均、類似団体平均値を下回っていますが、100%を超えており単年度収支については黒字となっています。
 ②流動比率については、全国平均、類似団体平均値を上回っていますが、100%には達していません。企業会計に移行して2年が経過し、会計年度を重ねるごとに上昇していますが、今後も引き続き上昇するよう努めます。
 ③企業債残高対事業規模比率については、全国平均、類似団体平均値を下回っていますが、汚水管渠施設への設備投資に伴い借入した企業債については今後の償還完了に伴い減少していきませんが、内水氾濫対策として雨水幹線整備財源として新規借入を行っており、当面横ばいの傾向が続くと考えられます。
 ④経費回収率については、全国平均、類似団体平均値を下回っており、100%を下回っていることから、今後汚水関連費の支出の削減や下水道使用料の見直しについて検討します。
 ⑤汚水処理原価について、全国平均、類似団体平均値を下回っていますが、経費回収率の問題があることから、汚水処理費の支出削減策を検討します。
 ⑥水洗化率について、全国平均、類似団体平均値を上回っています。今後も引き続き未接続世帯に対し指導を行い、水洗化率の更なる向上を図っていきます。

2. 老朽化の状況について

老朽化の状況について、令和4年度末時点で法定耐用年数を経過した管渠はありません。しかし近い将来において、法定耐用年数を経過する管渠が一斉に発生することが予測されます。
 現在の時点でストックマネジメント計画に基づく点検調査を行い、管渠の老朽化状況や劣化の有無を把握します。調査により修繕を要する箇所が確認された場合には、緊急度の高い箇所から修繕を行っていきます。
 広い範囲において老朽化が進行している管渠が確認された場合には、計画的に更新工事を行い、費用の平準化に努め、下水道事業の経営に過大な影響が及ばないように努めます。

2. 老朽化の状況



全体総括

経常収支比率が高い一方で経費回収率が100%を下回っているのは、下水道使用料だけでは汚水処理費を賄いきれず、一般会計から繰入金を受けていることを反映しています。
 企業経営の健全性に照らしたときにあるべき姿とは言えず、今後改善を行っていく必要があります。
 令和5年度に経営戦略の見直しに着手し、下水道事業の経営状況と未来予測を行います。これに基づき改善策を検討し、将来発生する老朽化した管渠の更新をも視野に入れた、持続可能で安定した経営を行ってまいります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。